

蔵之庄町説明会 会議録

平成27年10月1日 午後 時～ 時 分

市側出席者：市長、川口参与、上田所長、井上課長、山下係長

蔵之庄：水に対して質問させていただきます。先程から何回も、大丈夫、大丈夫ですと、念を押して説明ありましたが、福島の問題と言われましたが、あの福島の問題なければ原子力もね、見学に行ったら、ああ成程これだけの事してあったら大丈夫なんですと、皆がそう思っていたんです。ただ想定されない問題が、気象においても色んな事で想定外の問題が起こります。福島で想定されてない事が起こってる。そこで今は南海地震、近年の内に起こると言われております。そしたら、想定外の事が起こると考えられます。クリーンセンター、想定外の事あるんじゃないですか。ただ大きな地震起こりますと、潰れなくても、接合部分で不良が出て、水漏れがするとかいうのはあるでしょ。あちこち出てました。ここも潰れなくても、水に対しては循環方式を取られてるという説明がありました。循環方式されていても、水は大丈夫、大丈夫と言われていて、確かに濾過技術も進んでいて、環境基準もそういう形になってると思いますが、循環方式の接合部分が壊れたと、水が漏れ出しましたと、そしたら濾過通ってない水が漏れる恐れも出てきます。こういう所に対しての迅速な対処はどういうように考えているのか。

天理市：今ご質問された事は、多くの方が痛感されていると思いますし、私自身、外務省時代、当時本部に送られた経験があり、常にその状況を見ていました。ご指摘の通り、繋いだパイプが外れるというのは、日常茶飯事ありました。ご理解いただきたいのは、まず放射能を扱っているものと、あくまで私達の普段の暮らしから出ているものとの違いなんです。ごみだという事なので、汚染というニュアンスになりますが、それは結局、今私が手に持っているこういった紙であるとか、口に入れた物の他の部分だったり、根本的な性質の違いがあるという事は、ご理解いただきたい。大災害や色んな状態において、想定しないとイケないんですが、まず暮らしが成り立つ為には、きちんとごみを処理できるから、快適な暮らしが出来る訳です。他の地域に比べて高いか、低いかわりという中で、低い土地を選ぶ中で、今の技術の出来る限りの事を尽くす、そこに専門家も入るといふ所を確保したいと考えています。例えばバキッと何かが折れた場合、どうなのかという、構造上、中で水が漏れた場合等の時は、そこから地下に貯め込んでおくような仕組みになるので、コンクリートで囲まれています。じゃそのコンクリートにひびが入って割れた場合、水が染み出したらどうなるんだと言った場合、ありとあらゆる例を言っていけば際限ない所まで行くんですけども、そこは元々が放射性物質とは違いと、異質のものというご判断をいただければと考えております。しかし、予算を削って十分な対策を取られてない施設という事になると、元々巨額のお金をかけた施設ですので、万全の対策を取らせて頂きたいと思っております。水の点で、産廃の処分場だとか、米谷の処分場だとかの印象があるかと思いますが、その点をご理解いただきたいのは、燃やすごみは外に埋めません。燃やした灰は土に埋めてそこを雨が通って流れてくる、だから米谷でも、何もないと言ってたけどという話も聞くところですが、ここはあくまで、燃やして灰は山添村の最終処分場か、大阪湾の所へ持って行くという事になりますので、直接何かしらのものが、雨水についても、漏れるものではないとご理解いただきたいと思っております。配管についても、震災以降フレキシブルなものが出来ています。それぞれの所にダンパーというのを設けて、中が折れないような構造になっています。

蔵之庄：ダンパーって何。それに対して、初期対応をどのように考えてるのか。

天理市：危機管理体系のマニュアルだとか、すぐ復旧させる体制ですか。そういった事も今後、しっかりマニュアル化していきたいと考えてますし、復旧させる為には、場合によっては、市外からの専門的な具材であったり、色んな物、人達を入れないといけない。そういう所からすると、ここは名阪からすぐの所なので、色んな具材が他の所から来て、おそらく天理市内では、最もアクセスし易い所ではないかと思えます。危機管理対応マニュアルについては、他の自治体の例も見ながら、しっかり詰めて行きたいと思えます。

蔵之庄：色んな車でゴミ運ぶと思うんです。やはりクリーンセンターへ持って行く場合、いくらゴミでもクリーンな車と、そういう所意識してやってほしい。車出入りしたら、タイヤの泥とか、その時、いちいち洗うのもなんだし、ちょっと泥だけ落としてもらって、綺麗な道路にしてほしい。また、ゴミ運んでますという車では、クリーンな感じではないので、綺麗にしてほしいです。パッカー車で収集して頂いていますので、会社が入っていると思うが・・・きちっとして・・・。

天理市：これから実際に10年後という事になるので、それぞれの自治体がどういうのを調達するのかという事についても、環境負荷の所も含めて検討していきたいと思えますし、泥等が付いているかどうかという事ですが、今回施設の屋内に、外に水が漏れない洗車場というのを造りまして、車等にごみが付着した形で外を走り回らないかどうか、ここはきちんと対応出来る施設になっています。また施設を視察いただける機会もあれば、国崎クリーンセンターについても、正にそれがどういう状況なのか見ていただけるのと、それはしっかり対応していきたいと思えます。

蔵之庄：1ページなんですけど、当然こういう施設というのは市民にとっても必要で、焼却場も火葬場も近くに来て、どうかなーというイメージはありますけども、一番初めの建設費の所なんですけど、今4市町村で120t、11市町村で370tという、A市、B、Cという3倍の施設になって、ゴミを天理に持って来るという話になってると思うんです。我々今日来たのは4市町村で建替え、これ今までの4市町村で、従来から思ってるんですけど、3倍の施設持ってきて、今聞いていると建設費が安いというような話で、すれ違った話と、北側のルートあるんですけども、このルート元々、名阪迂回して天理教の施設通って、通行量多いからもう迷惑取りたいのという話の中で、協力してこられた皆さんおられる中で、通行量から言ったら、そういう環境の施設持って来るとするのは、私の勘違いかもしれないが、そういうご幣ある言い方もあるんですけども、それは別として、3倍の施設を造って、市長になられて2年目の中で、広域の行政をリーダーシップをとっていくんだと、これは非常に有難い話ですが、迷惑施設を、この樫本校区の中で・・・しておられるという事もあるんですけども・・・な姿勢を聞かせていただきたいなど、これは6市町村ありきの話で・・・を出しておられるのか、もし不参加になればもっと金額が取られますよね。市の負担が今3分の1で13億7千万とあるんですけども、その進み具合というか、どの辺の段階で、今の広域というのは11市町村で、奈良、生駒、郡山離れて、大方39市町村の3分の1の行政を天理市がという事になりますので、今後の方針も含めて市長さんの考え方を聞かせていただきたい。

天理市：皆さんに申し上げてないのは、A市、B町というような、隠しているような形になっていますが、それは私共が隠しているという事ではなく、今回広域される市町村において、例えばゴミの処理に関して、お仕事されている方もいらっしゃれば、色んな関係の方がおられ、それぞれの市町村議会の中で、あるいは、市民、皆さんの中で積替施設を造って天理市と一緒にやっていくに

事について、合意がちゃんと得られるという前に、私の方から勝手にいう事は差し支えがあるので、そこは数で示させていただいております。ただ、今どういった状況なのかという事について、10になる可能性はございます。これは9月末から10月上旬にかけて正式に議会の状況も見た上で、我々に回答を求めたんですが、その中で1つについては、変わり得ますので、370tこれは今、我々全ての市町村が出しているごみの割合で、仮に減量化すればもう少し減っていく可能性はあります。ただ、これが300tを大きく下回る形になって、今3億と言っていたのが、今ほとんど変わってないと、それは想定出来ないと思ってまして、少なくとも12月議会にかけるといのは、全ての市町村において、この事務組合に参加すると、設立するという議決を出しますので、その時点において全て明らかにさせていただく、その上で、概ねこの11の内、少なくとも10程度については、これは参加の意思というの、聞いている所です。それがなぜイメージという所であったとしても、なぜ天理市が引き受けないといけないかという事について、まず金銭面以外にご理解いただきたいのが、私達の暮らしは、本当に市町村の境の所で完結しているかという事です。今私がトイレに行くとしたら、下水を使います。それは何処が受けていただいているかというと、浄化センターでして、今度プールが出来た所で、天理市の外です。私達、現在流している下水は、他の市町村に受けていただいている実態があり、あるいは、この燃やした灰は何処に行くか、山添の皆さんにとっては、何より大切な山の中に埋める、また大阪湾の漁業をしている皆さんにとっては、何より大事な大阪の海にこれが捨てられる、ただそれが、それぞれの支え合いの中で回っているという事があるんだと、今回はこの広域の中でこういった活用されず、かつ、道路のアクセスも良く、造成されている所もあったんで、天理にというお話になった訳で、根本的に我々は、天理市民であると共に、奈良県民で、日本国民であるという中で、奈良県全体で、うちだけ見ても維持管理費が年間1億以上、それが30年、40年と言えれば何十億、もの凄く大事な事です。本来ならば県は、支出は市内ものだけど、それに対し県も助成をしようと、その地域の振興についても、天理市だけじゃなく、事務組合での責任としてやっていこうと仰ってという形になっています。すり替えじゃないののご意見を出していただいたんですが、皆様方からお預かりしている予算の内、どれを使って何処に回せるかという事は、有限の資源をどう回していくかの中で、これだけの大きな額を行革で生み出すという事は、ほとんど・・・に近い、今後徐々に減っていく中でどう支えて行くか、なんとか身入りを増やし、出て行くものを減らし、その上で、福祉、教育のサービスを充実させるか、今回第1弾として、子育ての皆さんから非常に要望が高かった医療費の助成を12月の議会に挙げて行こうと思っておりますが、一見全然違うものを持ち出しているように聞こえるかもしれませんが、何処かで削る部分があれば出来る事です。それによって天理は他より手厚いという事になり、少しでも来ていただけるような流れを作っていくという事が、世代間のバランスを良くし、この町を持続可能な町であるという事が非常に大事だと、これが他のA市、B町からとったら、得しているだけという見方もあるかも知れないが、それはお互いの支えの中で、私達自身にとっても非常にメリットがあるんだという事で、皆様にご理解いただきたいと思っております。

蔵之庄：今回焼却の施設だけと聞いていたんですが、リサイクル・・・が入ってなかったんで、これセットでされるのか。それと、焼却炉、リサイクルセンターは、セットで近くでやった方がいいと仰ったが、土地的には近いが距離的には大分回らないといけないと通れない道なので、その距離のメリット、デメリット及び、リサイクルセンターをここに設置しないといけないのか。それをお伺いしたい。

天理市：し尿処理場については、今回施設は考えておりません。今後9年程間に使用量も減って来ると想定されるので、現在の嘉幡町の残地をどのように活用していくかで、出来る事ならば何処かで・・・委託、色んな事考えられると思います。少なくとも樺本一帯にし尿処理施設を持って来るとは思っていない。今の物をどう使っていくか、あるいは、今の物をどう解消する手段をどう講じていくか。これは、今後の検討だと思っております。そして、焼却施設とリサイクルセンターというのは、絶対に一緒にしなければならないというものではないと、焼却施設だけというのも、今最も差し迫っているのは、炉が持たないという事なのであり得ると思っております。ただ一方でそのリサイクルに必要な破砕機とかについても、今の施設は老朽化しているのは事実です。また、最新の施設ですと、全部屋根の中に囲まれていて、今の施設は野積み状態になっている事からしても、同じタイミングで解消して行くという中で、行政の都合かもしれませんが、近くの地域、地権者のご理解を得る事が出来たという事を受け、これから高瀬川の所になって参りますので、底地は市場領です。六総の皆様中心にご理解を得て行きたい。ただこのこと、嘉幡町と、くつついている施設でなかったら、同じかと申しますと、こちらで利用したパッカー車、こちらでこれだったら設けられるが、これが全部この距離で行けるか、それとも、毎回嘉幡の所へ置きに行き、又取りに来てという事をしないといけない事になり25号線相当混んでますし、それぞれ片道30分以上見ないといけない。往復1時間かかると、それが全て人件費になり、効率性から考えると、この距離ですると、嘉幡町とここでするとでは、正確な計算は出ていませんが、今後の運転管理、これだけ離れていると、管理棟も違う所になってしまいます。2つ設けないといけない事になってしまいます。ここであれば、職員がここに車止めて、こちらまで歩いて来るという事もできますし、ほぼ一帯的な運用が出来るという状況です。この機会にリサイクルセンターをこちらに構えさせて頂ければな一と考えております。

蔵之庄：新設の炉は、今現在・・・新設だったら・・・その後、新設の炉の修理は・・・その先はどうされるのか。どのくらい使えるのか。もう一度建替えるのか。

天理市：概ね炉は20年から25年という事になっていまして、多くの施設では、施設自体は50年程度持つものなので、入れ替えをするというパターンが多いです。今の施設は非常に修理費が掛かっていますので、何とか騙し騙し使っている状況なんです。部品を取り換えるのも高額な物が積み重なっているという事もあり、今、修繕費の全体は・・・。新しい炉は、どういった形態のものにするのかという所について、専門家に入って頂き種類によっても変わって来るので、今、炉に幾らというのは申し上げられないが、現在の・・・というものは、相当古いものは、部品が高額であり、割高である状態です。今後入れ替えて50年使ったとして、地元の理解を得て行くというのが大事になってきますので、その後どうするかという事になると、今から50年前と現在と、生活様式も技術も相当開きもあり、又その時の人口も2040年の日本の人口どうなるかという計算が色々出て参りますが、それを遥かに超える2070年の人口という事になりますので、正にその時の人口どの位か、私達の暮らしから出るごみがどうなるか、その時には生ごみゼロとか、ごみゼロ社会になっているかも知れない、なのでこの時点まで、今と同じ用地が要るから確保しないとイケないという事になってくると、行政としては、身動きが取りづらい部分があります。何れかの段階では、将来の技術の部分を見ながら検討しますが、今の時点で明確な答えはまだありません。50年先ですので、生活様式、人口等から見ても出しようがないという事です。

蔵之庄：売買なのか、賃借なのか。

天理市：今我々が検討しているのは賃借です。何故なんだ、地権者双方違うんですが、今、賃借で合意が成立しているからです。それは、何なんだ、こういった話をしていると、色んな噂が出たり、そういった事聞いていると、他の町で面と向かって言われる事があります。例えば何処かの地権者から、金銭的に困っているから、継続的に金を流す為にやっているのか、そういったご指摘すら・・・でございます。この点は是非ご理解いただきたいですが、借りるにも、買うにしても、私共は公金ですので、しっかり専門の鑑定士が出したお金に基づいて議会の承認を得ないと結局、1円たりとも支出できない訳です。ですから今、鑑定金額と交渉の中で具体的に、どれくらいの金額になるのか出ている訳では有りませんが、概ね1千・・・位の中が想定されている訳です。それが、今の借りておられる方との関係で言えば、圧倒的に下がった額になりますが、地権者の財政規模から見ても誰かが金銭的に便宜を図る為にやるような金額ではないとご理解いただきたい。あくまでも公金のルールに基づいて鑑定を取ったものを、議会に掛けて、しかもそれは、うちの市だけが負担をするという訳ではなく、広域の事務組合できっちり分けてやっていく事を想定していますので、何か著しく買う、借りるの中で、作為が働いている事がないという点についてご理解をいただきたい。

以 上

